

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 27 日 (18 : 00~18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 日高 吉村 布施 斎藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 角谷 上園 白土 鈴木 NS 花
島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	現在使用している連絡ノート、伝達方式、ADL カードの早期見直し、修正をかけ発信し、ご家族から得た情報も含めて職種間で意見交換を実施、ケアの統一を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	連絡ノートや回覧物の確認はできているが、全体的に把握しきれていない面がある。発信する側、受け取る側の双方が不足していると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	7	3	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8	2	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	12	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	3	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前に ADL カードや利用計画書などで情報収集が出来、配慮や声かけが行えている。対応が難しい時には、介護がスムーズに行えるよう職員間でコミュニケーションを図り共有できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会議を全員で開催できないために、昼食時間帯に情報を回覧にして提示しているが、ご利用開始までの期間が短いなどは情報収集が間に合わず把握できていない部分が出てしまっています。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 情報の発信側と受信側、共に意識を持って【情報を得る】【情報の書き換えを担当職員がおこなう】を連絡ノートなど通して行ない、各自努力する。初回利用時の情報共有も記録にしっかり残すこと意識づけ、次回利用につなげて行く。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 27 日 (18 : 00～18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 日高 吉村 布施 斎藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 角谷 上園 白土 鈴木 NS 花
島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	人	人	14 人

前回の改善計画	介護計画・連絡ノート・回覧ファイルに必ず目を通し情報を把握する。その日のご利用者さんの情報や状態は状況記録用紙にすぐに記入し他の職員に伝わるように昼食時の回覧で周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報を発信する側からは伝えきれなかったと反省するところはあったが、連絡ノートを見たり職員間で声をかけあって情報把握と共有に努めた。気づいた点なども記録に残せるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	5		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	8	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	7	4		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	5		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者の日々の状況を知ろうとすること、気持ちへの理解に努め情報把握とケース会議等において共有することで目標の理解も深まった。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人から目標を聞き出せないことや職員の意識統一が図れていない部分があり、思いを統一するための意見交換がもっと必要である。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケアプランに意識を持ち、プランを活かした関わりが持てるように、報告・連絡・相談の強化と会議の場に意見を持ち寄りケアの統一支援に向けて取り組む。「報告・連絡・相談」は主観的か・客観的か、事象を注意して区分をして実行する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 27 日 (18 : 00～18 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高 吉村 布施 斎藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 角谷 上園 白土 鈴木 NS 花
島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	送迎や通い・訪問など場面などで知り得た情報をケース記録(本人の言葉・客観的・主観的を取り入れ)に記録してケース会議で話し合い情報を得て以前の生活を知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の暮らしを知るには難しいと感じる所もあったが、知り得た情報は他の職員にも伝え周知できた。記録を残すことはできたが、発信については一方的になることがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4	6	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	7			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	2		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	2		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人の状況や状態に合わせた介護ができている。変化があれば見直しご家族にも報告ができている。ケース会議での意見・発言も担当からなされており、他の職員にも確認して適した介護ができるように取り組んでいる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしについてはコミュニケーション不足から状況を把握することが多少しかできず、情報が発信されても即時の支援につながらない場面が多々あった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケアなど忘れがちな部分は各自 ADL カードや会議録等で情報確認をして行き、周知不足の改善につなげる。ご利用者との関わりの中で情報量を増やし生活支援にもつなげていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 27 日 (18 : 00～18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上圀 白土 花島 田村 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画	地域行事に積極的に参加して地域資源を開拓していく
前回の改善計画に対する取組み結果	お祭り・防災訓練・学校行事等に参加することが定着してきている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	10	3	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	7	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事前に生活歴や在宅での様子をご本人やご家族から情報を得て確認している。 利用開始後は日々の関わりの中で生活スタイルなどの把握をしている。それらの情報を元にご本人とご家族や地域との関係が継続でき、元の生活スタイルに近づけるように支援できている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 民生委員との接触が少なく、どのような地域資源があるのかの確認が不十分であり、まだまだ個々の生活スタイルや人間関係・利用されていない時間の過ごし方の把握が必要である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ご本人からの聞き取りだけでなく、ご家族・介護者との関わり(送迎や訪問時・行事参加時等)から、これまでの生活スタイルや地域資源の情報を得て把握する。また、地域行事や各種集会・自治会活動に積極的に参加して民生委員活動・地域資源等の把握に努め理解を深める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 27 日 (18 : 30～19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上圀 白土 花島 田村 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画	多量な情報整理を行ない、話し合っ適切な情報に整理することにより、情報の把握につなげる。ご利用者さんの荷物等を全体で把握して申し送りの伝達をしっかりと行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	大まかな情報整理と把握、家族から得た情報を記録に残すことはできているが、細かな情報や申し送りの伝達はできていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	4	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人、ご家族のニーズや状態を聞きプランに沿った適切な支援を提供できている。ご希望する方には地域でのサークル活動など地域資源の活用の促しができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源については活用方法や必要性の把握ができていない。情報共有については細かな情報について職員間での把握に偏りがあり認識においても違いがあった。(口頭や文章のみでの伝達や支援内容の変更もあったため)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域資源については積極的に情報を得て活用につなげる。情報については口頭と文章でわかりやすく的確に〈発信〉〈受け取り〉を行ない情報の交換・共有と認識の確認をする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 00～18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上園 白土 花島 石田 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	4人	0人	13人

前回の改善計画	参加者は情報発信をきっちり行ない、職員は情報共有を図る。参加者が一定の職員に偏らないような参加の調整を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	他のサービス機関との会議等は計画作成等の職員が参加することが多いが、その知り得た情報を確認できるように発信をおこない各自把握に努めるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2	5	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	5	4	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	8	2	0	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	8	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 町内会のお祭りや学校行事、地域の活動やイベントにご利用者の皆さんやキッズルームの子供たちと参加している。施設で行なうイベントにも子供達や高齢者、その他・地域住民の方など参加が定着してきており交流ができている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の各種団体の活動やイベント情報が少なく情報の収集が必要となっている。その他サービス機関との会議には基本計画作成担当者のみでの参加となり介護職員の参加は少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域イベント活動に参加しながら様々な情報を得ていくと共に、施設においても出入りしやすい環境を作っていく。外部との会議内容については議事録等を確認するなど意識を持って参加職員へ積極的に質問等をおこない把握に努めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 00～18 : 30)

7. 運営

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上園 白土 花島 石田 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	3 人	人	13 人

前回の改善計画	報告は客観的に伝え、主観的意見を伝える時は必ず「私は」とつけ話すようにすることで、お互いの気持ちや意見も「伝える」「聞いてもらう」という体制を構築する。地域で必要とされる拠点となるために、夏まつりやお餅つきなど地域の方々には引き続き参加していただきこの施設をもっと広域にさせていただくようにする。また、私達も地域行事などに積極的に参加し私達ももっと地域を理解するように心がける
前回の改善計画に対する取組み結果	報告に関しては、いただいた時にご意見シートへの記入と上長に相談し、迅速に対応できており申し送りの発信や会議で議題にして改めての周知ができるようにしている。地域との取り組みとしては防災訓練等に参加をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	2	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	0	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	9	2	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や苦情などは、いただいた時にご意見シートへの記入と上長に相談し、迅速に対応できており申し送りでの発信や会議で議題にして改めての周知ができるようにしている。 地域と協働としては地区防災訓練への参加・小学校の運動会等への参加・中学校の体験学習受け入れや学校行事への参加し、交流を持つことができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業のあり方などを職員として各会議等を活用してうまく自分自身の意見を管理者等に伝えることができているために、運営に反映していただけることが少ない。地域との関わりとして職員一人一人が話すことが少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 事前に個々の職員から問題点や改善点等の意見を聴取し、自分の出した意見について事前に考えて会議の場で議題として発言していく共に、各担当ご利用者様の様子などを介護職員側から発言し改善事項や質問事項等について計画作成担当者からの意見や方法等の意見を出してもらいまとめていく形での会議形式としていく。 「伝える・聞く・聞いてもらう」という意識を持ち、地域の方々とイベント等を通して事業所を知って頂き私たち職員も地域を理解していけるように心がけていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 22 日 (18 : 00～18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上園 白土 花島 石田 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	12 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	インシデントなど上がってきた報告について原因要因に目を向け、回避に向けた話し合いにしていく。知識や体験として必要と思う研修会に個々でも目を向け参加していく
前回の改善計画に対する取組み結果	関係した職員と一つ一つの要因に目を向けて話し合い、事故報告書を書き全体への周知に向けて発信も行っていたが、同様のインシデントが起り回避につなげられない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	10	1		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	4		13
③	地域連絡会に参加していますか		4	5	4	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		12	1		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 施設内外の研修に参加できている。インシデントなど上がってきた事例を把握、理解し「リスクマネジメント」について日々考えながら業務に取り組むことができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会は業務上、参加者が限定されてしまうが「何時・何処で」などについて知らない職員がいる状態である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修や地域連絡会等は参加した職員がその内容を回覧したり会議の場で報告し、他の職員は学ぶ意識をもって実践の場でのスキルアップできるよう努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 22 日 (18 : 00～18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 日高 吉村 布施 斉藤 山田 三森 河野
サトウ 奥村 上園 白土 花島 石田 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	3 人	人	13 人

前回の改善計画
プライバシー・個人情報・身体拘束・虐待について実践的な部分を明確にし共通認識を図るより明確なマニュアルの作成及び研修の実施
前回の改善計画に対する取組み結果
虐待の事例等の記事などを回覧したり、個々でマニュアルを確認し、必要なこと・大事なことの確認は取れているが、皆でのマニュアルの読み合わせをしたりなどはできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	3	9	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	9		1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9	1		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
プライバシー保護・個人情報の管理・虐待や身体拘束を行わないためにマニュアルの作成・研修等の実施ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の意識不足のため、ご利用者様の居る場所で他のご利用者様の情報など話しに出してしまい、配慮に欠ける場面があった。成年後見制度について把握ができていない職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
プライバシー・個人情報については各個人がしっかりと意識を持つ。成年後見制度について再度職員間で周知し、把握に努めるようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川 恵美子	法人・ 事業所 の特徴	顔なじみのスタッフにより、ご利用者様やそのご家族様等のニーズに適宜対応するため、必要なサービス [通い/泊まり/訪問] を柔軟に組み合わせて、提供することにより、ご利用者様の地域生活を総合的に支援・安心を提供いたします。 介護が中重度になっても、住み慣れた地域で、これまでの生活を維持し、尊厳をもって「自分らしく暮らしたい」という思いに応えてまいります。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	管理者 日高 和枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業計画をホームページに掲載するとともに運営推進会議においてサービス評価の状況等を説明していく	法人ホームページにおいて事業計画及び事業報告を掲載し情報開示に努める共に事業所自己評価を運営推進会議にて項目毎に順次説明を行なうことができた。	個々の職員のスキルアップは内面的なことも含めると限りがないが、それぞれ個性もあるので、事業所全体で一つの計画があるのは結構ですが、個別のテーマもあっても良いのではないかと	職員全体の意見交換を行ない、活動や業務に取り組んでいく。法人ホームページでの情報開示、運営推進会議での個々のステップアップシートの説明・サービス評価の状況説明も順次行っていく
B. 事業所のしつらえ・環境	事務所内の職員同士による声掛け等をおこないなるべく日中は事務所が無人の状態にしていくと共に事務所職員の増員をしていく	事務職員を増員すると共に、職員間での声かけ等をおこないなるべく事務所内に日中職員が居る様に勤めている。	1 階玄関直ぐに、地域交流室があり、地域の方も活用しており開かれた印象を受けます。利用者も加わって工夫ができればいいと思います。	環境整備や清潔への意識を常に持ちご利用者にとって居心地のいい場所であり、地域の方々も入りやすい空間作りに努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の文化センターや地域包括支援センターの協力を仰ぎ、広報誌等を置いていただく又社会福祉協議会の支会への参加の実施	広報紙等の施設外での設置等までは実施できていないが、社会福祉協議会の支会へは今回施設長が推進委員となり参加している。	地域行事に多数参加しているのをよく見かけます、職員の皆様は好感がもてます。送迎時間の忙しい時間帯でも、挨拶がきちんとできており、とても気持ちのいい印象です。	地域の文化センターや地域包括支援センターの協力を仰ぎ、広報誌やイベントのお知らせ等を置いて頂く。又、地域行事への参加も積極的に行ない事業所を知って頂けるよう努めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	認知症状の方々も地域で生活していけるようにその方のいる自治会や民生委員等との話し合いの機会を持っていく	ご利用者様の地域の自治会などに徐々にだが挨拶等を行い交流がもてつつある段階で話し合いの機会が継続的おこなえるまでには至っていない。	施設の行事に地域の方も参加、地域行事に施設利用者さんも参加しており、地域との関わりはとても良いと考えています。本人の意向に沿って出向いたり、地域の人に聞いたりすることが大切だと思います	地域行事等に参加し、ご利用者の方々の住み慣れた地域での生活支援に努めていく。また、地域の自治会や民生委員等の話し合い、交流の場が継続して持てる
E. 運営推進会議を活かした取組み	困っていることなど地域で一緒に取り組んで欲しい事を具体的に自治会や運営推進会議で提案していく	行事などの部分では具体的にお願いすることができつつあるが、日常部分や緊急時などの部分での提案も今後行っていきます。	会議の意見などを活かし地域の方々とのコミュニケーションの場を設け情報を得て会議を有意義にする。事例についても皆で考えるなど、とてもよい機会になってます。	地域の方々に事業所の取り組み説明を行ない、事例検討や意見交換の場として活気あるものにし、地域での取り組みを自治会・民生委員・地域の方々と共に行っていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方々へ声かけをおこなって 9/1の施設防災訓練計画・目的等の共有をして協力を仰ぐ。また、福祉避難所の受託を受けていく	福祉避難所の指定を市より受託された。9/1の防災訓練には運営推進委員の方々も参加して頂けた。	地震災害時、八千代台小学校が避難所となり、体育館等の避難場所での障害者への援助を貴事業所に協力頂くことは可能ですか？ 積極的に防災訓練等をしているがまだまだ練習が不足していると思う、参加者全員に具体的にやってもらうなどが必要	地域の方々へ声かけを行ない、施設の防災訓練・目的等の共有を図り、受託している福祉避難所としての機能理解や周知にも努めていく。